

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月22日更新

事務事業名		地域活性化センター参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	市長公室	課長名	松田 勝
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	企画課	担当者名	渡邊 光
	施策の柱	1	地域づくり(まちづくり)人材の育成			所属班	企画広報班	(内線)	1257
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令			
		2	1	13	11603				
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	本事業は、昭和60年10月1日「活力あふれ個性豊かな地域社会を実現するため、まちづくり、地域産業おこし等、地域社会の活性化のための諸活動を支援し、地域振興の推進に寄与する」ことを目的に、すべての地方公共団体、多くの民間企業等の参加を得て設立された財団法人「地域活性化センター」への参画事業である。 地域活性化センターの事業としては、毎月情報誌「地域づくり」、地域づくり団体事例集、地域活性化ガイドブック等の発行、地域活性化フォーラム等の開催、地域づくり団体全国交流研修会への助成等を行なっている。 平成24年度までは、財団法人熊本県市町村振興協会による地域活性化センター負担助成事業として、熊本市長会・熊本県町村会が、県内全市町村分の会費を地域活性化センターに支払っていたが、公益法人制度改革により、振興協会が公益財団法人へと移行する中で、全体的事業内容の見直しが行なわれ、会費助成については、公益目的事業として「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの」には該当し難いとの判断から、平成25年度以降、各市町村からの支払いとなった。
【業務の流れ】	・センターからの請求に基づき、毎年度当初に年会費の支払い事務 ・必要に応じた資料の収集
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	① 手段(主な活動) 3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
負担金(年会費)の支払いを行った。また、センターからの情報入手及びセンター主催事業へ参加を行った。	負担金(年会費)の支払いを行う。センターからの情報入手及びセンター主催事業へ参加する。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 情報提供回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
まちづくりに取り組んでいる人	→ ア: 合志市地域づくりネットワークに登録された団体構成員数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
地域づくりの人材育成ができる。	→ ア: センター事業を利用した人	人
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
活性化センター事業を利用することにより、地域づくり人材は育成されるため、利用人数とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込
① 活動指標	ア	回	12	12	12	12	12	12	12	12
② 対象指標	ア	人	150	150	250	150	260	260	260	260
③ 成果指標	ア	人	0	0	5	0	5	5	5	5
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	140	140	140	140	140	140	140
		(A) 事業費計	千円	140	140	140	140	140	140	140
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	1	0	1	1	1
延べ業務時間	時間	50	50	5	0	5	5	5		
(B) 人件費計	千円	197	198	19	0	19	19	19		
トータルコスト(A)+(B)	千円	337	338	159	140	159	159	159		

事務事業名	地域活性化センター参画事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	---------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 まちづくり助成等支援事業については利用がなく、研修及び交流会への参加については企画課で把握できた人数は0人であった。
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 まちづくり助成等支援事業や研修及び交流会の情報を、地域づくり団体に対し市地域づくりネットワークの会議等の機会に提供し、利用や参加について働きかけていく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 まちづくり助成等支援事業の利用や、研修及び交流会への参加が増えることにより、地域活性化につながることを考えられるため成果向上の余地はある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地域づくり団体の支援事業は他にはない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は地域活性化センター年会費のみである。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限であり削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域づくり団体等に直接助成をするものではないので公正・公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域活性化センター年会費の支払い及び情報入手・提供は行政の役割であり適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

地域活性化センターが発行する情報誌や取り組み事例集を参考にし、各種助成金等の活用を検討していきたい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						